

# 青少年交換委員会

委員長 茂野 芳久（羽衣）

## 【活動基本方針】

青少年交換は 80 年余りの歴史を有し、将来を担う高校生に長期交換では 1 年間の留学の機会を与え、短期交換では数週間の外国訪問の機会を与えます。

交換学生は違う生活様式、異なる言語の中で生活し、自分自身についても家族のありがたさについても、多くを発見することになります。そうして交換学生は自国の文化、自分の考えを出合った人に伝え、親しい友人を作りながら若き親善使節としての役割を担います。

世界のロータリアンの約 8% を日本のロータリアンが占めます、しかし青少年交換プログラムに参加する日本の学生は全体の 3% に及びません。もっと多くの高校生の諸君が、留学を通じて異文化に接し国際理解と国際親善を推進するよう、この素晴らしいロータリー青少年交換プログラムを勧めてまいります。

## 【活動計画】

- ① 2011-2012 年度は、6 名の交換を行います。
- ② 2012-2013 年度に向けて、10 名程度の募集・選考を行います。
- ③ 年間 5~6 回のオリエンテーションを開催し、受け入れ学生に対し生活指導とカウンセリングを行い、毎回のスピーチを通じて日本語の習熟度を確認します。  
派遣学生に対しては若き親善使節となりえるよう、日本人として自国の歴史・文化を確認するよう指導します。
- ④ 新世代部門のインターアクト、ローターアクト、RYLA の各プログラムと協力して幅広い交流を目指します。
- ⑤ 近隣地区（2650 地区・2660 地区・2680 地区）の青少年交換委員会と協力し、合同行事を開催いたします。
- ⑥ 危機管理委員会とも連絡を取り、交換学生の心身の安全に留意します。

## 『2012～2013 年度』

# ロータリー長期青少年交換の募集案内

### 【目的】

若き親善使節として 1 年間海外の高等学校に通い、相手国のホストロータリークラブに選定された家庭での生活を通じて、異文化に接し国際理解と国際親善に努める。

### 【派遣時期と期間】

2012 年 8 月に出発、2013 年の 7 月に帰国することとする。滞在期間は 1 年を超えない。

### 【応募資格】

1. 日本国籍を有し、精神的、肉体的、社会的に健康であること。
2. 出発時の年齢が 18 歳未満の高校生であること。
3. 学業成績が上位 1/2 以上で、学校推薦とロータリークラブの推薦を受けた者。

### 【応募方法と締め切り】

仮申請書に必要な事項を記入の上、スポンサークラブになっていただける最寄りのロータリークラブに提出のこと。

地区青少年交換委員会はスポンサークラブからのみ仮申請書を受け付けます。

ロータリークラブを通さずに、直接ガバナー事務所に送ることはできません。

応募締め切り 2011 年 9 月 20 日

### 【選考試験】

英語及び一般教養の筆記試験と面接があります、英語は英検準 2 級程度でリスニングテストを含みます。

選考試験は 2011 年 10 月初旬の予定です。

希望国の順位を届けていただき、試験の結果により派遣先が決まります、したがって派遣先の希望が必ずしも叶えられるとは限りません。

### 【派遣実績】

2011-2012 年度 アメリカ 4 名、カナダ 1 名、ブラジル 1 名

2010-2011 年度 アメリカ 4 名、フランス 2 名、デンマーク 1 名、スウェーデン 1 名

2009-2010 年度 アメリカ 2 名、デンマーク 2 名、フランス 2 名、スウェーデン 1 名  
ブラジル 1 名、ドイツ 1 名

### 【派遣可能国】

アメリカ、フランス、デンマーク、ドイツ、スウェーデン、ブラジル、メキシコ、タイ、カナダ、台湾、インドネシア等。

### 【派遣学生の費用負担】

航空運賃及び渡航に付随する費用は各自の負担になりますが、海外での生活費や学費等は受入国のロータリークラブが負担します。派遣先での旅行や保険加入は各自の負担です。出発前にジャケット、名刺、バッジ等の購入が義務づけられています。